

# げんきアップ通信

発行：2020年9月1日 編集 浦和東部地区元気アップネットワーク  
 連絡先：スマイルハウス浦和 電話 048-813-7710  
 HP：https://genkiupnw.webu.jp/ Facebook：/genkiup.urawaeast/

スポーツ & 健康マガジン (旧浦和S Cニュース vol.236)



# 月刊 うらすぼ

第36号



発行：2020.10.1

NPO 法人浦和スポーツクラブ



info@urawasc.org https://urawasc.org

TEL:048-887-7140 FAX:048-677-7598

## ○ 10月3日と11日はみんなの学校へ！

### ■みんなの学校 開催報告

#### ○第2回地域を学ぶコース

日時 9月5日(土) 10:00~11:30

会場 領家公民館会議室1

お話し 竹内 昭さん

テーマ 武州鉄道の夢の跡を訪ねて

現在は国道122号があるあたりに1924~1938年まで川口神根から蓮田まで走っていた鉄道の跡が、今でも見られます。



https://hkuma.com/rail/busyuu/busyuu01.html

### ■みんなの学校 今後の予定

#### ○第3回地域を学ぶコース

日時 10月3日(土) 10:00~11:30

会場 領家公民館会議室1

テーマ 川のささやきと我が故郷

お話し 磯部則立さん

#### ○第1回健康づくりコース

日時 10月11日(日) 9:00~11:30

会場 領家公民館 多目的ホール

テーマ おうちで抵抗力を高める

なんと4人の講師が食~ツボのことまで、他では受けられないスペシャルお得な企画です！

**みんなの学校・健康づくりコース** 定員 30人

新型コロナウイルスの対策として、3密(密閉・密集・密着)を回避して安心して受講できる環境を整えます！

**おうちで抵抗力を高める** 講座

新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染予防のために体に抵抗力を！

長島あき子  
抵抗力を高める  
食べ物の  
選び方、食べ方

石井 浩  
正しい姿勢  
や正しい呼吸

風道ゆきか  
ヨガインストラクター  
自律神経を  
整えるヨガ

松川 幸一  
全身の体質を  
整えるツボ

**開催日時** 10月11日(日)10:00~11:30

**会場** 領家公民館 浦和区領家4-21-21  
1階多目的ホール

**持ち物** 上履き、飲み物、タオル、動きやすい服装

**参加費** 200円(資料代) 受付時お支払い

○自宅へ検温してきてください。  
○マスク着用、公民館入り口でアルコール消毒をお願いします。

主 催：浦和東部地区元気アップネットワーク みんなの学校運営委員会  
連絡先：スマイルハウス浦和 電 話：048-813-7710

### ■元気アップサロンの予定 \*事前申込の回はスマイルハウス 048-813-7710 まで！

10月		11月	
8日(木)	大東公民館 10時~	5日(木)	領家公民館 10時~
15日(木)	屋外(ウォーキング) 10時~	12日(木)	大東公民館 10時~
20日(火)	領家公民館 10時~	19日(火)	南筒公民館 10時~
28日(水)	南筒公民館 10時~	25日(水)	領家公民館 15時~17時

- P1 シリーズ 「うらわの わわわ」②
- P2 学校部活動改革は、地域社会の大きなチャンス！
- P4 10月3日と11日はみんなの学校へ！

### うらわの わわわ ②

2000年まで、浦和駅から高砂小学校へ抜ける路地に、映画「灰とダイヤモンド」の主人公の名前を冠したカフェがありました。

そこで学生するとき、アルバイトをしていました。演劇の演出家でもあるマスターのもとに集う人たちによって、たびたび、演劇や音楽やダンスなどの公演が開かれたりしていました。アーティスト的な雰囲気と大盛りのパスタに惹かれて調神社前の美術予備校生が入り浸っていたりもしました。スブロッカを片手にポーカーに興じる経営者たちとか。同時に、市民活動をする人たちが会合を持ったり、本好きの読書会が開かれたり、アイリッシュのグループの飲み会が開かれたりもしていました。

そんな日や十二日町の日には満員になって死ぬほど忙しかったりもしたけれど、雨の月曜日などお客がただの1人も来なかった、という経験も何度もしました。ある時、火事で焼けだされたお客さんの1人がしばらくの間夜だけ寝泊まりしていたことがありました。50代くらいの背の高い男性が「荷物を預かってほしい」と70歳くらいの大きなリュックサックを置いて行き、そのまま何ヶ月も、結局戻らなかったこともあり。ラジオ講座でスペイン語を勉強していたママを訪ねて南米から出稼ぎにきていたお母さんと3歳の娘が飲食せずずっと話しこんでいたこともあり。後になって夜間学校にボランティアで関わっていたと知りました。

昼間のカフェでお茶しているだけでは見えないこと、世間知らずのコムスメに「世の中にはいろんな人がいる」ことを教えてくれた場所、そこそがカフェでした。今流行の、芸術文化とならんでもっとも不要不急な場所、だけどそんな場所に受けとめられた人を何人も見て来ました。私もそのひとりです。区画整理ののち、北浦和東口の平和湯の北に移転してからのことはまた、そのうち。

記事) 谷居早智世さん

自称「アートと旅とテントとクッキーが好きなおばちゃん」。  
NPO 法人クッキープロジェクト理事・広報部長。



1980年頃にコルソ・伊勢丹の建設が始まりました。駅から高砂小までの間もずいぶん変わってきましたね



高砂小

☆新シリーズ「うらわの わわわ」：いろいろな人に、浦和の「好きなモノ・コト・人・店」などを紹介していただきます。書いていただいた方には、次の連載をだれかに引き継いでいただきます。ちょっとノスタルジックに浦和と自分の関わりを紹介しつつ、どっかのお店やお気に入りの場所を紹介していただきます！

## 学校部活動改革は、地域社会にとって大きなチャンスです

### ■教員の負担軽減だけで語るべからず

9月1日に文科省方針が明らかになり、新聞で報道されました。「地域委託」「教員負担軽減」という言葉が強調されたこともあり、地域スポーツ関係者の間では「どうやってやるの?」「誰がやるの?」と、本来の部活動改革の目的が置き去りにされ、これまで課題とされてきたことのうちの教員の方々の負担軽減という一側面だけに注目が集まっているようです。

私たちは、部活動改革は、教職員のためだけではなく、

- ・子ども達のためでもあり
- ・地域、社会のためになる
- ・スポーツ振興のためにもなる

ことだと考えて、中学校の部活支援に取り組んでいます。

### ■子ども達のため

教員だけに頼ることで、当該種目の経験の無い方が顧問にならざるを得ないことや、異動のたびに方針が変わってしまうことなどが課題とされていました。

### ■地域、社会のため

中学生や高校生が、多感な時期に、地域の大人たちと関わる機会が増えることは地域コミュニティの向上につながると期待されています。

また、学校という地域の核となる具体的な場所を中心に地域の大人たちが繋がる機会が増えることも良いことです。

### ■スポーツ振興のため

中学生や高校生が、地域の活動とつながることで、学校の卒業に関わらず地域でスポーツを続ける可能性が高まります。

異なる種目の指導者がつながることも大きな意味を持つものと考えます。

このように、スポーツだけでなく、地域社会にとって大きな発展の機会ととらえていただければよいと思います。

## NPO法人正会員募集!

浦和スポーツクラブの正会員になって、私たちと一緒に、自分の、家族の、友人の、そして地域のスポーツライフを豊かにすることに取り組みませんか。好きなスポーツでつながる、明るくなる、元気になる、スポーツの不思議な魅力に、皆さんのアイデアを加えて、楽しいまちにしていきたいませんか。詳しくは、事務局にお問合せください。

(第3種郵便物認可)

# 休日の部活地域委託

## 公立中高 教員負担軽減へ

文科省方針

長時間労働が問題となっている教員の負担を軽減するため、文部科学省は1日、公立中高の休日の部活動を地域や民間団体に委託し、教員による指導は希望者のみとする形式に切り替えることを柱とする改革方針を取りまとめた。大会が部活動過熱の一因になっており、参加する大会を絞り込むことも要請した。

地域委託は来年度から各都道府県のモデル校で実証実験を始め、2023年度からの段階的な導入を目指す。必要経費を来年度予算

の概算要求に計上する。部活動は学校が運営するため教員の長時間労働の一因となっており、将来的には平日も地域主導にしたい考え

改革方針では、自治体による部活動の監督責任を持たせ、保護者や元教員らでつくる指導グループなどの地域主体の部活動に関する費用は、保護者負担が適切と指摘。自治体による施設使用料の減免や経済的に苦しい家庭の負担軽減策を実施することも考えられるとした。国による支援も検討する。

また、学校現場で大きな負担となっている文科省などが実施する統計調査は、紙での調査表の一律配布をやめ、オンライン化を目指す。

部活動を巡っては、外部人材が教員をサポートする「部活動指導員」制度をつくり、教育委員会に人件費を補助していた。ただ、専門知識や経験を持つ人材が見つからない地域では活用が進んでいない。

## 浦スポも、スポーツ庁モデル事業に参加します

### ■令和2年度運動部活動改革プランに選定されました

昨年度に引き続き、今年度も企画提案応募し、9月13日に採択の連絡をいただきました。さっそく本太中とも話し合いを持ち、今年度の取り組みについて調整が始まりました。

今年度は、主に以下のことに取組みます。

#### ◎チャレンジクラブ

男女あわせて15の部の全てで地域指導者による指導の日を週に1回以上設け、浦スポのプログラムとします。希望者のみが参加し、校外の施設や、校内でも夜間の施設開放時間の枠を利用することで、冬季でも2時間の練習時間を確保できるようにすることで、練習の強度を高めていくことを計画しています。

#### ◎アスレティックトレーナー(AT)等専門家派遣

ATやスポーツ栄養士、PTなどスポーツ科学の専門家を部活動、チャレンジクラブに派遣し、体づくりや怪我からの復帰をサポートします。

#### ◎アナザープログラム

運動部でがっつりではなくても、少しは体を動かしたい・・・人と競うスポーツは苦手だけど・・・そんな生徒のために、フィットネスプログラムなどを試行します。

#### ◎シンポジウム・地域関係者会議 等

モデル事業は今年度のことですが、部活動を地域で支える流れは変わりません。数年内には、全ての中学校で進めていくことになります。

来年度以後どうやって定着できるものにしていくのか、本中だけでなく市内の他の中学校ではどうしていくのかなど、地区内の関係者の方、市内の関係者の方と一緒に考えていくべきことがたくさんあります。今年度かに行い、地域で良い知恵が出せるように話し合っていきたいと考えています。

### ■地域スポーツ指導者を探しています

モデル事業だけではなく、来年度以後も見据えると、より多くの地域のスポーツ指導者が協力体制を組んでいく必要があります。

中学校の部活動指導をお手伝いしたい、地域の指導者たちと一緒にやっていきたいというお気持ちの方がいらっしゃいましたら、クラブまでご連絡ください。

## 今年度、サッカー市民リーグは親善リーグとして開催

### ■9月から始まりました

例年ならば3月に開始される市民リーグですが、今年は9月から12月の4か月間に5試合(例年は7試合)の親善リーグとして開催されることとなりました。

新チームは、すでに9月13日と22日に2試合を消化。

13日5-0 22日4-1と勝利しています。

17歳~59歳まで平均年齢38歳のバラエティに富んだ楽しいチームです!

日本教育新聞 R1\_11\_18

